

対象園数 132園
 在園児数 15,250
 食物アレルギー(率) 4.7%

食物アレルギー患児数	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	
男	451	52	116	88	78	64	52	1	
		年齢別比	11.5%	25.7%	19.5%	17.3%	14.2%	11.5%	0.2%
女	265	20	78	51	43	43	27	3	
		年齢別比	7.5%	29.4%	19.2%	16.2%	16.2%	10.2%	1.1%
合計	716	72	194	139	121	107	79	4	
		年齢別比	10.1%	27.1%	19.4%	16.9%	14.9%	11.0%	0.6%

原因食物	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
鶏卵	368	45	102	72	67	51	30	1
男								
女	212	19	65	45	33	31	18	1
牛乳	142	15	38	27	30	19	12	1
男								
女	81	1	31	17	10	13	8	1
大豆	30	0	9	10	5	3	3	0
男								
女	23	0	10	5	1	3	4	0
小麦	50	8	19	9	4	4	6	0
男								
女	20	1	9	5	1	3	1	0

原因食物	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
ナッツ類	40	0	8	9	10	10	3	0
男								
女	16	0	1	2	3	4	6	0
そば	22	1	4	1	4	5	7	0
男								
女	9	0	0	2	0	6	1	0
エビ・かに・甲殻類	30	1	5	4	6	8	6	0
男								
女	23	0	14	4	4	1	0	0
バナナ	18	2	3	5	4	2	1	1
男								
女	5	0	0	1	0	1	3	0
魚介類	25	3	3	6	2	5	6	0
男								
女	20	0	7	2	9	2	0	0
魚卵	12	1	2	1	4	3	1	0
男								
女	8	0	0	0	8	0	0	0
鶏肉	10	1	5	3	0	0	1	0
男								
女	0	0	0	0	0	0	0	0
牛肉	3	0	1	1	1	0	0	0
男								
女	3	0	1	1	0	0	1	0
野菜	7	0	2	4	0	1	0	0
男								
女	2	0	0	0	1	1	0	0
芋	3	1	1	1	0	0	0	0
男								
女	1	0	0	0	1	0	0	0
ごま	8	0	2	3	1	0	2	0
男								
女	3	0	0	1	2	0	0	0
キウイ	5	0	0	1	0	2	2	0
男								
女	4	0	0	3	1	0	0	0
チョコ・ココア	2	0	0	1	0	1	0	0
男								
女	0	0	0	0	0	0	0	0
米	3	1	2	0	0	0	0	0
男								
女	1	0	0	0	0	1	0	0
ウインナー・火腿	2	0	1	1	0	0	0	0
男								
女	0	0	0	0	0	0	0	0
果物	6	0	0	2	2	0	2	0
男								
女	6	0	1	1	1	2	0	1
菓子	2	0	0	0	0	1	0	1
男								
女	3	0	0	0	1	1	1	0
チーズ	2	1	0	1	0	0	0	0
男								
女	0	0	0	0	0	0	0	0
納豆	1	0	0	0	0	0	1	0
男								
女	0	0	0	0	0	0	0	0
乳製品	7	0	3	2	0	2	0	0
男								
女	6	0	0	0	0	5	1	0
マヨネーズ	3	0	2	0	0	1	0	0
男								
女	4	0	0	0	1	0	3	0
油	0	0	0	0	0	0	0	0
男								
女	2	0	2	0	0	0	0	0
トウモロコシ	0	0	0	0	0	0	0	0
男								
女	1	0	1	0	0	0	0	0
ちくわ	0	0	0	0	0	0	0	0
男								
女	1	0	0	1	0	0	0	0
茶	0	0	0	0	0	0	0	0
男								
女	2	0	0	2	0	0	0	0
コンソメ	0	0	0	0	0	0	0	0
男								
女	2	0	0	0	1	1	0	0

1.2) 対応に困っていること	2. 事故	事故事例	3. 問題点 1	3. 問題点 2	4. 生活管理表	
保護者の対応がいい加減		誤配をしそうになった				食器に名札 お盆を替える
休職材料表への保護者のチェック漏れ						
			子どもの変化に関して精神的に苦勞	職員全員への徹底	使用していない	
			給食担当者の負担大 対応に限界	行政補助要 代替食コスト大	使用していない	
食品表示と製造ラインの確認に時間要					使用していない	
クラス担任への連絡が不徹底になりがち						
表示のない食品の場合の業者への確認に時間が掛かる。同じ製品でも製造ラインが異なり困惑			医師の指示書の遅延		使用していない	
アレルギー対応食品の入手困難 (乳除去マーガリン、製造ラインも安全なマヨネーズなど)			食材除去がライン確認まで要するのあいまいな対応			
児による除去レベルの相違			多くの除去での栄養不足を懸念	見た目を健常食と同様に	使用していない	
保護者と園の理解・対応に齟齬						
	少量で発見・異常なしたが誤食	熱のトレー使用ボードで確認しあう	調理者、保育者、保護者の連携	子どもの心情への配慮 (皆と一緒に食べる)	使用していない	
医師から原因食品の指示があれば保護者と連携しやすい			原因食品の多様化・複雑化で給食業務に支障		使用していない	
アレルゲンと製造ラインの表示がないものもある					使用していない	
アレルギーに対応する使える食材が少ない						
除去食児数の増加に対応する器具やスペース、人員確保が難しくなっている						
	誤食	担当のミス	医師・保護者・保育所で使用量の認識に差がある			
			宗教上の除去では医師の指示必要なく不平等感がある			
			医師による判断基準に差がある			
			血液検査で無反応でも食後に症状が出る子どもがある			
			子どもに負担の掛からない判断基準を!			
除去解除の指示がはっきりしない	小麦 大豆 卵 牛乳 くるみ ピーナッツ 誤飲	判読できず	医師の記入する指示票であって欲しい		使用していない	保護者が記入提出する食物除去申込書のみ
他の子どもが食べてしまうこと						
調理場での対応						
体調により症状が変化しやすい重症児の管理 (アナフィラキシー対応や低蛋白血症などを合併している例)、環境整備、給食対応誤食防止など成長発達段階での細かい配慮が必要。主治医が決定していないケースもある。病院を渡り歩き、その都度指示が変更される。重症児では症状により対応変更があり、速やかな対応が難しい。明確な指示書がない。			入所させたい保護者が入園時問診や検診で重要事項を伝えず、事後報告のケースあり。	朝夕や土曜日など担任以外の職員では多くのアレルギー児への配慮を周知徹底するのは難しい。	使用していない	入園時：卵・牛乳・小麦・米・でんぷん・えび かに 人参 ほうれん草 パナテんさい キク科の野菜など多数

1.2) 対応に困っていること	2. 事故	事故事例	3. 問題点 1	3. 問題点 2	4. 生活管理表	
			緊急時対応の理解のためにマニュアル作成・会議などが必要。	多様な除去指示に対する煩雑な給食対応、誤食防止、体調に応じた給食提供など。		
	0歳男：小麦(麦茶)の誤飲	保育士ミス。麦茶を一口与えた直後、口唇発赤出現、リンデロン内服。帰宅、1時間後アナフィラキシー(全身発赤、口唇咽頭浮腫、脱肛、喘鳴など)あり、大学病院にて救急処置	人的配慮(医師の指示で遊びや与薬時間の規制など個別保育が必要なケースあり。障害児のような加配措置はとられていないため、保育体制に無理が生じる。)	重症児に関しては主治医との連携や保護者のメンタルフォローなどの細かい配慮が必要。		
小麦除去では代替食に苦勞			アレルギー専門の調理員の配置を望む。	代替となる調味料や食品の購入	使用していない	
					使用していない	
					使用していない	
保護者への対応					使用していない	
保護者の献立票確認の返事が遅い事あり	女兒 卵	弁当の中のゆで卵を除去したが、他の食材に黄身が接触したらしく食後、顔に発疹。大事には至らず。			使用している	
					使用していない	
					使用していない	
			園と家庭での対応にズレ	医師の診断書があるといいのだが..	使用していない	
			卵不使用のパンを別注		使用していない	ハウスダストアレルギー
			医師による見解の相違(0歳児ミルクについて)		使用していない	
					使用していない	
					使用していない	
			診断書の書き方がマチマチ	個々のアレルギーに対応できないため重症児に合わせると不必要な除去になってしまう	使用していない	
					使用している	
アレルギー対応で人手不足			人手が必要		使用していない	
					使用していない	
保護者との意識のズレ調整に時間が掛かる保護者が過敏			重症児は集団給食では事故につながりやすい。	器具・材料管理に細心の注意を払っても事故は起き得る。	使用していない	
					使用していない	
見た目が同じ除去食の管理					使用していない	
同じメニューで完全除去と一部除去の個人差があること	0歳男 卵アナフィラキシー	間違っって卵丼を食べさせた	アレルギー対応に関する意識を全職員が持ち続けていくことの難しさ。	毎日の繰り返しで緊張感が薄れる		
食べると口の周囲が赤くなり魚アレルギーと思われる子がいるが保護者は認めず受診しない。			医師の指示書が統一されていない。(ハムは×でソーセージはokなど)	医師会などで指示書の書き方を統一して欲しい	使用していない	
医師によるはっきりとした診断がない場合、その対応が難しい					使用していない	
					使用していない	

1.2) 対応に困っていること	2. 事故	事故事例	3. 問題点 1	3. 問題点 2	4. 生活管理表	
			年々アレルギー児がふえているようだ		使用していない	
					使用していない	
家庭と園の対応齟齬（園では除去、家庭で食べている）						
アレルギーの子どもが増え、今後の対応に不安	1歳男：牛乳	隣の子どもの牛乳を誤飲	市販の対応菓子が少ない		使用していない	
	2歳女：原因不明の発赤疹	アレルギー対応のパンを食べて発疹			使用していない	
					使用している	
家庭と園の対応の齟齬（解除しても良いと思われるのに診断が有料のため受診しない。）	2歳男：ホットケーキでアナフィラキシー	誤食			食事日誌	
徐々に解除の場合でも家庭の協力が得られない。						
アレルギー児が増え調理が複雑 特に多くのアレルギーを持つ子は食べられる食品が少なく悩む	3歳男：ピーナッツでアナフィラキシー	節分で撒いたピーナッツでショック。救急車で専門医にて点滴、回復	正規・随時の保育士の連携	人手が掛かる	使用していない	
除去が複雑	2歳男：卵・牛乳	ロールパンを誤食 受診するほどではなかった	アトピーで痒がるが保護者がステロイド軟膏に抵抗があり漢方薬のみ。睡眠不足も感じられるが除去食だけでいいのか？			
見た目や栄養価が同じように作れない					使用していない	
アナフィラキシーの重い子どもがいる			園と家庭の齟齬		使用していない	
					使用している	
医師の解除指示があっても保護者が応じない					使用していない	
休日保育には対応できない			普通児とメニューが違ってしまう		使用している	
					使用している	
					使用していない	
料理によっては食べても良いなどの細かな対応					使用している	
厨房内でのアレルギーの混入					使用していない	
					使用していない	
					使用していない	
					使用していない	
					使用している	
他児と違うと本人が納得しない					使用している	
診断書にお金が掛かるので提出しない場合が多い			手間・時間が掛かる	少しでも発疹がでると除去してと言われ、病院での診断による適切な対処が出来にくい。栄養面も心配。	除去児の一覧表アレルギー児の献立票作成・配布	対応の指示は園長・調理責任者
					使用していない	
			同じ程度の症状・数値でも医師によって対応が異なる 症状がなくても検査数値で除去が決まる場合あり。	永年の除去で栄養が十分取れないで体格に影響しているのでは？	使用していない	

1.2) 対応に困っていること	2. 事故	事故事例	3. 問題点 1	3. 問題点 2	4. 生活管理表	
見た目を同じに作るのに苦勞。 保護者の要求がエスカレートしてきて気遣いが必要			食材がコスト高。 人手が掛かる。	隣の子どもの食事に手を出したりする	使用していない	
					使用していない	
保護者によって望む対応が異なる。どこまで対応したらよいか？			栄養価の偏り			
					使用していない	
					使用していない	
保護者判断の対応					使用している	
					使用していない	
					使用していない	
除去する食材の多い子はおやつの種類が限定され飽きる。			アレルギー用のおやつ購入が大変		使用している	
体調によって除去						
体調によって除去						
体調によって除去						
体調によって除去						
体調によって除去						
	3歳女：誤食	隣の子どもの給食を食べた。発症せず			記載なし	
					使用していない	
			献立も限られ、見た目も栄養も異なり子どもの心理的負担が心配		使用していない	
					使用していない	
代替食は献立が単調 おやつも食べられる種類が少ない ワンパターンになりがち			給食室と保育室の連携		使用している	
原因物質の種類や程度が個々に異なり、また複数あるので対応が難しい	5歳女：卵	除去解除になっていたが、体調不良でアレルギー反応出現	解除後も保護者との連絡を密に取る必要あり	テーブルを分けるなどしているが、食後に友達の手に触れて反応が出た。	使用している	
原因食が多くなればなるほど対応が難しく、ワンパターンになり勝ち			同じようなレベルでも医師によって指示が異なる。	保育・栄養スタッフの連携	使用している	
	1歳男：誤食	給食室ミス 保育士確認ミス	同じ調理器具を使用するため細心の注意が必要		使用している	
	2歳女：誤食	配膳時の渡し間違い				
アレルギーの園児が多く、一人ひとりレベルも違い把握が大変 手間やコストが掛かる			土曜日など不慣れな保育士が入ったときの連絡が行き届かない		使用している	
園と家庭での対応に齟齬あり			クラス担当が間違っていて配膳してしまうことがまれにある		使用していない	
子供同士で食べさせ合ったり、隣の子どもの食事に手を伸ばしたりしてしまう			全除去、一部除去、調理法によっては可というように対応が細かく難しい		使用していない	
血液検査で反応が出たとかで、数値が高くななくても除去の指示が出されてしまう。	0歳男：卵	保育士のミスで誤食 2回	保育士が確認しないなど意識の低さ		使用していない	
一般の医師の指示書で内容が詳しくなく、どこまで除去すべきがよく分からない			保護者の勝手な判断		使用していない	

1.2) 対応に困っていること	2. 事故	事故事例	3. 問題点 1	3. 問題点 2	4. 生活管理表	
小麦粉アレルギーは調味料や目に見えないようなものにも入っていて対応に苦慮	5歳男：小麦粉	誤食 一口だったので症状は出ず	隣の子ともと混じらないようにするため人手が必要		使用していない	
食事指導指示書を依頼しても記載してもらえない医師がいる。			園と家庭の対応に齟齬あり		使用している	
子どもの心理的負担（他児との疎外感）			医師によって制限・除去の方針や表現が異なり、理解しづらい		使用していない	
	1歳男：卵	卵黄のみ食べていたが、湿疹が続き受診して全卵除去に			使用していない	
医師の指示（少量・加熱・二次製品）が分かり難く混乱しがち。			紫外線による湿疹、草木による結膜炎、原因不明の蕁麻疹など緊張させられることが多々あります。		使用していない	
					使用していない	
負荷試験ではOKだが食べると症状が出る。数値だけでは判断しにくい			代替食のコスト高 入手しにくい	食前に飲ませる薬にてがかかる	使用している	
調理作業が複雑で人手不足誤配しないよう調理室とクラスのコミュニケーションに気を遣う。食品管理の場所・時間共がない			アレルギー児が多いので、人員不足 調理室の狭さ	医師の指示が分かりにくい	使用していない	
			栄養士・調理師・保育士などの人的配置を予算化して欲しい		使用していない	
個々に除去の程度や種類が異なり、とても神経を使う。調理室が狭く、普通食の直ぐそばで除去食を作らざるを得ない			誤配の危険がある 人的にも広さに置いてゆとりなし	医師の指示が分かりにくい	使用している	
食べ始めまでに時間がかかるので、クラス活動を早めに切り上げなくてはならない	1歳男：くるみ	チェック漏れで誤食によるアナフィラキシー	原材料には入っていないが製造ラインではつかわれているものがある。どう考える？		医師の指示書	
					使用している	
保護者・担当・調理室との連携プレーが大事					使用していない	
行事で配る市販菓子には細心の注意が必要			アレルギーがあることで入園拒否をおそれ、入園時に報告しない。		使用していない	
対応しているおやつの種類が少ない			集団給食では個々の対応が十分に出来ない		使用していない	
保護者のアレルギー認識の低さ。園と家庭での対応の齟齬			年齢が低いと友達のお事に手を伸ばす。	他児とは違う食事を気にする	使用していない	
保護者の自己判断による除去がふえているようだ			自己流の除去をしている親への対応		使用している	
			極まれに煩雑さの中で連絡ミスあり。	子の成長と共に除去内容が変わるので保護者・医師・保育所の連携を密に。		
保護者の自己判断で除去			同一室内での調理でアレルゲン混入があるのではないか心配		使用していない	

平成 21 年 7 月 10 日

日本保育園保健協議会
会員 各位

日本保育園保健協議会
会長 鴨下重彦

アンケート調査協力をお願い

謹啓

暑中お見舞い申し上げます。

平素は、当協議会事業にご支援・ご協力をいただきまして有難うございます。

今般、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課より「保育所におけるアレルギー疾患対応に関わる調査研究」を施行し、財団法人こども未来財団よりの委託研究として、「保育園におけるアレルギーの生活管理指導表の作成」を受諾いたしました。

つきましては、同封のアンケート調査票にご記入の上、7月31日までに FAX にて当協議会に返信していただきたくお願い申し上げます。

また、保育現場のアレルギー対応に関する実態調査です。できるだけ多数のデータを集めて、実態を正確にまとめたいと思いますので、可能でしたら、会員以外の方に調査票をコピー配布していただき、アンケートの協力をいただけますと幸いに存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

謹白

FAX 03-6912-1224

平成 21 年 7 月 31 日まで

(お問合せ先)

日本保育園保健協議会 事務局

東京都千代田区麹町 3-5-8 麹町センタービル 402

TEL 03-6912-1222 FAX 03-6912-1224

e-mail hoikuhoken-office@themis.ocn.ne.jp

8. 解熱薬や抗けいれん薬、ぜん息の発作止めなどの屯用薬（内服、座薬など）の与薬は行っていますか？

- ① 行っている ② 行っていない ③ 該当園児がない

9. 保湿剤やステロイド外用薬のような軟膏の塗布は行っていますか？

- ① 行っている ② 行っていない ③ 該当園児がない

○ 給食・おやつ等について、お答えください。

（→給食・おやつを所（園）で提供していない場合は20.（㉝）へ進んでください。）

10. 食物アレルギーのある児の受け入れについてお答えください。

- ① 現在受け入れている → ①に○をして、11.（㉞）へ
 ② 受け入れ可能だが、現在は入らない → ②に○をして、13.（㉟）へ
 ③ 断っている／受け入れ経験がない → ③に○をして、19.（㊱）へ

㉞ 11. 所（園）で把握している食物アレルギーの園児数を年齢別にご記入下さい。

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
人	人	人	人	人	人	人

12. 所（園）で把握している原因食物別の人数をご記入ください。
 （表にない原因食物は空欄に食物をご記入のうえお答えください）

原因食物	鶏卵	乳製品	小麦	大豆			
食物アレルギー 児数	人	人	人	人	人	人	人
原因食物							
食物アレルギー 児数	人	人	人	人	人	人	人

→ 13.（㉟）へすすむ

（調査票は2枚あります）

保育所(園)におけるアレルギー疾患対応についての調査票・集計結果

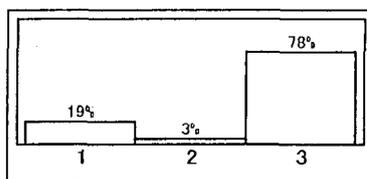
凡例

- ※ グレー部分は調査票の設問
- ※ 「割合」は無回答・不正回答(N/A)を含んだパーセント
- ※ 「有効割合」は有効回答中でのパーセント
- ※ 「累積割合」は有効回答中での累積パーセント
- ※ ヒストグラム中の%は有効割合
- ※ 無回答・不正回答(N/A)が10%以上の場合はマーキングした

総所(園)数	953	対象園児数	105,853 名
--------	-----	-------	-----------

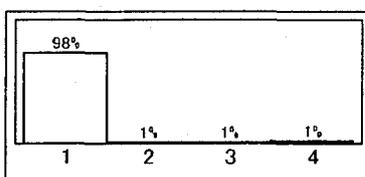
○ 貴所(園)について、お答えください。

1. ①公設公営 ②公設民営 ③私立(社会福祉法人・学校法人を含む)



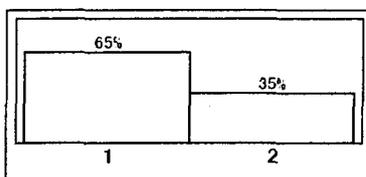
	度数	割合	有効割合	累積割合
1	177	18.6	19.0	19.0
2	29	3.0	3.1	22.1
3	727	76.3	77.9	100.0
N/A	20	2.1		
(合計)	953	100.0		

2. ①認可 ②認証 ③認定 ④それ以外



	度数	割合	有効割合
1	750	78.7	97.8
2	5	0.5	0.7
3	5	0.5	0.7
4	7	0.7	0.9
N/A	186	19.5	

3. 所(園)長は保育士資格を ①持っている ②持っていない



	度数	割合	有効割合
1	551	57.8	65.4
2	292	30.6	34.6
N/A	110	11.5	

4. 現在、受け入れている園児の年齢と在籍数(年齢は4月1日現在)

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
人	人	人	人	人	人	人

最大値	37	68	69	81	96	96	206	
最小値	0	0	0	0	0	0	0	
中央値	8	15	18	20	21	21	0	合計
小計	7405	15282	18258	19851	20749	20822	3486	105,853
(年齢構成)	7.0%	14.4%	17.2%	18.8%	19.6%	19.7%	3.3%	100.0%

(園の規模)	最大値	最小値	中央値	平均
	412	1	104	112.5

5. 各職員の数

常勤(職員)	保育士	栄養士	管理栄養士	調理師(員)	看護職
	人	人	人	人	人

・常勤職員	最大値	51	14	4	8	3	
	最小値	0	0	0	0	0	
	中央値	15	1	0	1	0	合計
	小計	14373	724	203	1246	437	16,983
	(構成割合)	84.6%	4.3%	1.2%	7.3%	2.6%	100.0%

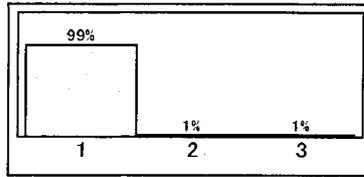
非常勤(パート等)	保育士	栄養士	管理栄養士	調理師(員)	看護職
	人	人	人	人	人

・非常勤職員	最大値	40	11	2	9	4	
	最小値	0	0	0	0	0	
	中央値	4	0	0	1	0	合計
	小計	4846.7	98	18	954.5	159	6,076
	(構成割合)	79.8%	1.6%	0.3%	15.7%	2.6%	100.0%

6. 所(園)で供される食事等について(おやつ、離乳食、ミルクを含みます)

1) 調理場所

- ①施設内で調理 ②施設外で調理 ③その他 ()

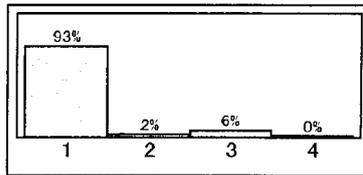


	度数	割合	有効割合
1	939	98.5	98.8
2	5	0.5	0.5
3	6	0.6	0.6
N/A	3	0.3	

※ ③「その他」 1+2、1+3が1園ずつあった

2) 調理者

- ①所(園)の職員のみ ②一部委託 ③全部委託 ④その他 ()

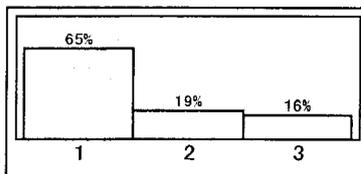


	度数	割合	有効割合
1	878	92.1	92.6
2	15	1.6	1.6
3	53	5.6	5.6
4	2	0.2	0.2
N/A	5	0.5	

○ 保護者から預かった薬の管理状況について、お答えください。

7. 毎日服用する薬の与薬は行っていますか？(塗り薬は除きます。)

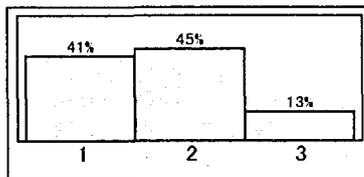
- ①行っている ②行っていない ③該当園児がいない



	度数	割合	有効割合
1	607	63.7	64.5
2	180	18.9	19.1
3	154	16.2	16.4
N/A	12	1.3	

8. 解熱薬や抗けいれん薬、ぜん息の発作止めなどの屯用薬(内服、座薬など)の与薬は行っていますか？

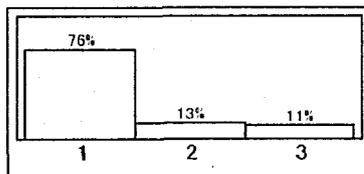
- ① 行っている ② 行っていない ③ 該当園児がいない



	度数	割合	有効割合
1	383	40.2	41.2
2	422	44.3	45.4
3	125	13.1	13.4
N/A	23	2.4	

9. 保湿剤やステロイド外用薬のような軟膏の塗布は行っていますか？

- ① 行っている ② 行っていない ③ 該当園児がいない



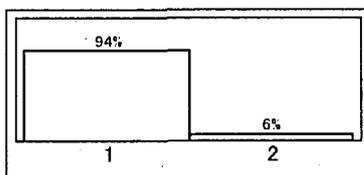
	度数	割合	有効割合
1	712	74.7	76.4
2	122	12.8	13.1
3	98	10.3	10.5
N/A	21	2.2	

○ 給食・おやつ等について、お答えください。

(→給食・おやつを所(園)で提供していない場合は20.へ進んでください。)

10. 食物アレルギーのある児の受け入れについてお答えください。

- ① 現在受け入れている (そのまま11へ)
 ② 受け入れ可能だが、現在はしない (13へ進む)
 ③ 断っている/受け入れ経験がない (19へ進む)



	度数	割合	有効割合
1	892	93.6	93.8
2	59	6.2	6.2
3	0	0.0	0.0
N/A	2	0.2	

※ ③は回答園なし

(設問11、12の回答対象数)

892 園	101,322 名
-------	-----------

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
7132	14652	17405	18999	19809	19852	3473

※ 設問13以降は全数調査へ戻る

11. 所(園)で把握している食物アレルギーの園児数を年齢別にご記入下さい。

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
人	人	人	人	人	人	人

最大値	7	8	9	8	5	5	7
最小値	0	0	0	0	0	0	0
中央値	0	1	1	1	0	0	0
小計	550	1350	1137	891	698	500	44
(年齢構成)	10.6%	26.1%	22.0%	17.2%	13.5%	9.7%	0.9%

合計	5,170
	100.0%

(園ごと) 最大値 最小値 中央値 平均
 33 1 5 5.8

有病率	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
	7.7%	9.2%	6.5%	4.7%	3.5%	2.5%	1.3%

12. 所(園)で把握している原因食物別の人数をご記入ください。

(表にない原因食物は空欄に食物をご記入のうえお答えください)

原因食物	鶏卵	乳製品	小麦	大豆			
食物アレルギー児数	人	人	人	人	人	人	人

(集計は別掲)